

14.本校の教育子どもたちの姿などについて、ご意見やご要望があればお書きください。

令和4年度学校教育活動アンケート「ご意見」(保護者・抜粋)

<学習について>

- ・落ち着いた雰囲気だと思います。コロナを理由にせず、子どもに多様な経験をさせてほしいと願っています。今年度は比較的、様々な行事、取り組みがされたと思います。職業講話だけでなく職場体験もできるといいです。
- ・勉強面で自学も大事だけど自分だけじゃ上手く出来ない子いるだろうからもう少しテキストやプリントを毎日少しずつコツコツやれるように宿題をだしてほしい。今の感じだとただ1ページ埋めるためだけに自学をやっているしテキストも提出期限の前にやっているだけでただやっているだけで身に付いていないようにみえる。特に長期の休みの宿題が他の中学は、教科書事に課題がでていてみたいで毎日少しずつコツコツやれるように勉強の仕方をアシストしてほしいまだ勉強の仕方がよくわかっていないようです。親から勉強の話をしすぎると角がたつので学校先生のアシストがほしいです。
- ・教科担任のレベルの違いで、授業の質が違うのは仕方ない事と思う。他のクラスより進みが遅れているせいで、テスト範囲が直前で変更になっても、多少仕方ないかもしれないと思う。でも、時間がないから、あとは家でやってきて。なんでわからないのか。何回教えればわかるのか。と言い放つような授業をやってる話を聞くと、かなり萎える。子供たちも不信感しかないので、授業の雰囲気が悪くなる、子供たちの態度が悪くなる、また先生もイラつく、という悪循環しかないのだと思う。
- ・先生が、漢字がわからないとか、授業中先生もわからないなど言ってるのを子供が受け入れてることが、心配。
- ・1年生から進路について、受験に向けての心構えの準備期間として、早めの指導があると良いのではないかと思います。
- ・全員拳手や配膳タイムを競うキャンペーンは必要なのかな?先生や子供達は何を目的にやってるのかな?と疑問に思います。
- ・银杏を支援クラスだけでなく、参観日の日に他の保護者様にも購入してもらえたら、よかったかなと思いました。

・中学校の3年間で、主体的取り組む力が最もつけたい力です。自分にはどんな力が必要で、何をどのように取り組めば、その姿に近づくことができるのかを常に考えるように促していきます。現在も、各教科で取り組むべき教材があり、確実にできるようにするには、時間を要するものばかりです。次年度はコツコツと計画的に取り組むことができるように、時間割を記入する「ライフ」の様式を変更し、常に自分の学習の進捗状況を把握していくよう支援します。

・教師の指導力については、反省すべき点は改善するよう常に自己研鑽をしていきます。

・キャンペーンについては、生徒の意見を取り入れ、皆で取り組む姿勢をつくることで、授業や生活の質の向上を図る一環と捉えて行っています。

・次年度は、2年生の職業体験、银杏について、検討していきます。

<生徒・教師の姿から>

- ・本人はとても人見知りですが、友だち作りが苦手ですが、話しやすい先生のおかげで、不安なく毎日通えています。また、その教科は得意ではないですが、好きでいてくれるのも、先生のおかげかと思えます。ありがとうございます！
- ・本人、楽しく学校に通えてるので安心です。
- ・毎日元気に楽しく学校に通っています。これも先生方、周りの友達のおかげと感謝しております。ありがとうございます。
- ・いつもありがとうございます。上の子が友達トラブルで学校に行きたくないって相談した時も、凄く本人に向き合ってくれたり。今度入学予定の子の入学説明会で、中学校は行きたいと自信を取り戻せてくれました。西可児中の良さ、先生たちの努力に感謝してます。ありがとうございます。
- ・挨拶が出来、登校もルールを守っていていいと思います。
- ・協友祭など行事に一生懸命取り組んでいる姿がとても良いと思いました。
- ・理解してもらえない先生もいる事は確かです。共用してもらえるとより理解してもらえると感じられます。



- ・指導者の機嫌によって生徒の活動が損なわれるのはあってはならないと思います。
- ・先生対先生の接し方について、子供達が不信感を抱く様な姿が散見されている様です。
- ・学校内でのいじめはまだ、少なからずあると思うので、教職員一人一人が児童一人一人を見るのは大変だと、思いますし、今の保護者は過保護なところもありますが、もう少し、児童一人一人と向き合い、どんな小さいいじめも見逃さないようにしてほしい。
- ・いじめに加担してる子を見て見ぬふりをしないでほしい。
- ・子供たちの言葉の使い方について。目上の人に対して子供たちは言葉の使い方がため口を使っているので指導して欲しい。又、教員も同様に子供にため口をしては子供もまねをします。
- ・先生の負担を減らすことばかり考える方針を変えたほうがもっといい学校運営が出来ると思います。

・生徒の挨拶が全くない

・いつも子ども達を見守ってくださり感謝しております。西可児中の素晴らしいところは、人との交流や生徒が自主的に考え行動する、という歴代の先輩達が大切に培ってきた自立した姿だと思っています。今年も、3年生が中心になってそのような素晴らしい姿を見せてくれるのだと期待をしていました。しかし今年に入り、より良くしようと考え努力している生徒、先生方がいる中、それを台無しにする指導が入るようになりました。生徒達の良さが活かされず理不尽な扱いを受ける事が多くみられ、非常に残念に感じます。(中略)『叱る』と『怒る』は違います。間違っ

使い方をすれば、それはただの暴力ではないのかと思います。平等とは何でしょうか？とある番組でも、一つの勝利（目標）に向かって切磋琢磨し成長していく子ども達の姿は素晴らしく清々しい。そして、それを経験した子は強い精神力、思考能力が備わった成長をします。競い合うという事は、そういう心身を養わせてくれる大切な時間です。そんな大切な経験が出来るチャンスを棒に振り、『平等』と訴え、平等の意味を間違った使い方をし、生徒の意見も聞かず、自分の意思で物事を進めているのに疑問を感じます。（中略）しかし、みんながみんな我が子のように精神力が強い訳ではありません。生徒は、ほぼ諦めているはず。どうかこの先、こんな思いをする子が減る事を切に願っています。

・子どもがコロナ禍での制限がかかったずっとストレスがかかった環境であることに慣れてしまっているのか、希望を持つことや、やってみたいと思う気持ちが薄れているように感じています。頑張ってもどうせ中止といった経験を積みすぎたせいかもしれません。おそらく先生方についても同様に慣れてしまっていて、せっかく対面授業であるにもかかわらず、子供たちの前で舌打ちをしたり、分からないと質問しても一言一句たがわれない説明を再度繰り返したり、はたまた、”俺が一生懸命授業をやるのがやろまいが給料は変わらない”と言った発言をしたり、感情的になったり、先生方や教育の質を疑うことが多い日々でした。一方で、子供たちに向き合い、寄り添い、休憩時間を割いて個別指導（分からないところと一緒に考え教えてくれる教室）をしてくれる先生がいたり、社会人になったら大事な行動や思いを伝えてくれたり、感謝しかない先生もいる中で先生方個人の質の差を感じてしまいます。義務教育だからこそ、知らないことを知って楽しいとか、先生方それぞれの教科の面白さとか、ワクワクを子供たちに伝えてほしいと思います。子どもたちは大人が思っているよりもよく見えていますし、どの先生が信用・信頼できるのかもよく分かっています。舌打ちをした先生に分からないところを教えてほしいと相談するでしょうか。一生懸命やらなくても給料は一緒だと言った先生から教えてもらった教科は果たして頭に残るのでしょうか。今の状況でも以前と変わらずやりたいことをやりたいと言っていいし、達成するための努力はムダではないとなかなか伝えることは難しいかもしれません。素晴らしい授業を求めるのであれば、有名な先生の授業をリモートで見ればいいですよ。でも、そうではなく対面授業で目の前の先生の目線や息遣いもわかる距離にいるのだから、こんな世の中だからこそ家庭と学校とでタッグを組み子供の成長につながる教育をお願いしたいと思います。

・先生方の個人スマホやタブレットについて。西可見中では、先生方の個人スマホやタブレット等は自由に使用可能なのでしょうか。役職者への申請をしたうえでの使用となりますか。学校から認可を得た機器を使用して授業風景の撮影や学級通信で使用する写真を撮るというのは分かりますが、お家で飼っているペットの写真を見せたり（見せてほしいと子供たちからは伝えていない）、スマホとの付き合い方を子供たちに教えている一方で、自由にスマホを持ち込んだりしていない子供たちにとって、その姿はどのように映るのか想像をしていただきたいです。子どもたちが不信に思ってもそれを先生方へは伝えません。誤解を生じないように何に使っているのかをはっきりと説明してくださっているのであれば、親としても子供から質問されても説明ができますし、子供たちも不信に思わないかと思うので宜しく願いしたいです。



- ・挨拶、言葉遣いなど、礼儀正しさやマナーについては、再度見直していきます。
- ・いじめ事案は、常に最重要課題と捉え指導にあたっています。両者の生徒・保護者の思いを汲みながらも、いけない行動については、改善を図るよう指導をしています。解決に時間を要する事案もありますが、「いけないことはいけない」と毅然として指導し続けています。
- ・教員の負担軽減ばかりを優先しているつもりはないですが、そう感じられることがあれば申し訳なく思います。ただ、教師の適正な労働時間により心身の健康を保つことは、教育の質の担保と同等と捉えています。学校全体の運営がうまくいくよう、最善の方法を選択していきます。お困りのことがあれば、気兼ねなくお声かけいただきたいと思っています。
- ・教師の対応について、生徒の皆さんと保護者の方々に嫌な思いをさせてしまったことを反省しています。具体的な内容について把握し、改善すべきところを真摯に受け止め、今後に生かすよう努めます。また、個々に対応させていただきます。

#### <地域とのかかわり>

・私は日曜日午前中、部活動の見守りで中学校に行っています。駐車場に入ると、年配のご夫婦が敷地内の枝を切ったり、落ち葉を片付けていました。お礼を言うと、よく草取りやらボランティアでやっていたみたいでびっくりしました。校長先生をはじめ、お礼を言ってくださるよと言って見えました。私たちの知らないところで、保護者じゃない地域の方が清掃して頂いてくださることに感謝しかありません。ほんとに

- ・保護者の方から、地域の方に声をかけてくださり、ありがとうございます。本校の敷地も広く、地域の方のお力を貸していただけることに、心から感謝しています。学校は、地域に支えられています。子供たちは、地域の方々の愛情もたくさんいただいていることが感じられます。西可児中校区は、子育てしやすい素晴らしい地域です。この愛情の循環が、今後も続いていけるように学校としてできることを考え、行動に移していきます。また、学校施設を地域に解放し、利用者全員で整える意識をさらにお願いしていきます。

#### <情報提供について>

- ・下校表をもっと早く出してほしい。遅すぎます!!そしてわかりやすくしてほしい!!
- ・コロナで参観する機会が減り学校の様子が以前より伝わりにくい。お子さんにもよるがテスト結果や成績表、手紙類を配布したことすら知らないことがあり大事な要件の時だけでもメールで配布した旨をお知らせしていただけると助かると思った。
- ・学校から家庭への説明が不十分に感じる。生徒 | 人 | 人に対する関わりが薄い。

・数多くの規則を守らないで好き勝手やっている生徒に対して、指導し守らせるどころか、その親に文句を言われたら、携帯を学校に持ってきても良い許可を与えているようですが、同じ理由を言えば、全員携帯を学校へ持っていってもいいということでしょうか？一部の子だけが認められるのはおかしいので、どういった場合に認められるのか、全員に周知して欲しいです。

・次年度より学校便り「ひとりだち」の配付時期を少し早める予定です。少しでも正確な情報提供のため、月末に配付しております。また、できるだけ文書配付からデータの送信に変更していく予定です。

・各ご家庭への説明が不十分であるとのこと指摘に申し訳なく思います。保護者の方に個別に連絡すべきことは、欠席の場合の対応など全職員で共通に行っているつもりでしたが、ご不明な点があれば、いつでも学校に連絡をいただければと思います。

・規則は、生徒皆が安心・安全な生活を送るためにあり、よりよい生活を自分たちで創り出していくものであることを全校で確認しています。規則は、これまでの経緯から大切であると判断され、作られたものであり、今も受け継いでいます。決められた約束・規則は守る、改善すべきものは、皆で考え改善していくという姿勢に変わりはありません。連絡不足で周知されていないということについては、改善をしていきます。

「携帯電話の持ち込み」については、命に関わるようなどうしても必要な場合は、保護者の方と連携を図り、申請後に使用していただく形です。

### <部活動について>

・テニス部について。近隣の公立中学校と比べても、テニスコートの状態が悪いと思います。協力できる事があれば、させて頂くので、改善を望みます。

・部活の備品など、積み立て金を考えられてはどうでしょうか？

・部活動の保護者への金銭的、時間的負担が大きい。ユニフォーム以外にお揃いの練習着とか、地域ボランティアのコーチの結婚祝いとか。あと土日や平日の夜に部活やらないでほしい。送り迎えが必要になり、フルタイムで働いている身としては負担が大きい。

・平日の部活を増やして欲しい

・部活動の少なさや、活動しにくさが気になります。きちんとやれていると聞くのは野球部ぐらいです。吹奏楽部の活動が少ないと聞きました。

・数年前から部活動に対する学校側の行動に疑問を感じる。日々真剣に取り組んでいる生徒が努力を台無しにされ涙し、適当に活動している生徒が自分勝手に行動し、楽しんでいる姿を見ると悲しく思います。部員全員を参加させる意義は理解できるし、勝利主義になる必要もないと思います。しかし、生徒・学校・保護者間の温度差があり過ぎるのもいかがなものかと思えます。以前練習試合に参加する生徒を挙手の早い



順、ジャンケンで決めていた顧問を見た事もあります。真剣に向かってくる対戦相手に対しても失礼だと思し、たとえ下手でも真剣に取り組んできた生徒にとっては悲痛だったと思います。近辺の中学校と比べても、活動に対する温度差があり過ぎると思います。

- ・地域部活動への移行で、保護者の皆様にご心配やご苦勞をおかけしております。部活動については、様々なご意見をいただいております。施設の改善は、可見市教育委員会と連携し、安全性を重視した上で必要に応じて整備を進めているところです。
- ・部活動の積立金については、各部によって事情が異なりますので、各部での対応をお願いしたいです。練習時間増加については、今後、地域指導者の方のお力を借りながら移行を進めていかなければなりません。本校は、地域指導者の方々のおかげで、練習時間を確保できている部が増えてきています。必要であれば、保護者クラブの活動にも、積極的に施設解放をしています。
- ・冬場は、日没が早く、安全な下校のために平日の部活動を組み込んでいません。夏場や中体連前には、まとまった練習時間を確保していきます。
- ・部活動への顧問の認識については、ご心配をおかけし、申し訳ございませんでした。見直していきます。また、気になられた場合は、すぐにお知らせください。

#### <登下校について>

・通学路で危ない子を見かけなくなり、よくなったと思います。

・登下校の自転車マナーが悪すぎる。並列で坂を登ってくる(車はすれ違いきない)並列でおしゃべりしながら走行している、坂を端に寄らず真ん中を猛スピードで下ってくる(特に赤色ステッカーの学年)非常に危ないです。車側で気をつけて避けますが、並列で走行している生徒らは、後ろから車が来てもわざとふくらんで並列走行して笑っている。事故が起きてからでは遅いです。常識なく乗る生徒は徒歩通学など厳しい対応をお願いします。



・横断歩道で車に止まってもらいと、しっかりお辞儀をする中学生がいて、好ましい。一方、会釈も何もなく悠々と渡る子もいて、個性ではあるものの、お互いにどのように接したらお互いが気持ち良く過ごせるかを考えられるようになったら良いと思う

・登下校ですが…光陽台に住んでいます。ご近所さんから、坂の上で4.5人いられると駐車する時気を使う、できない時もあるといわれました

普段は良いと思うのですが、少し気にして声かけてもらえると有り難いです。

・登下校については、命を守る行動であり、常に指導を行っています。道路地域の方と共有する場所なので、誰にとっても安全な登下校をするように今後も継続して指導していきます。しかし、気になる場合もあるかと思いますので、気になった時は、その場ですぐに「危ないから寄ってください。」などと、声をかけていただきたいです。本校の生徒は、みな素直で、声掛けにすぐに気が付いて、直そうとします。ぜひ、地域の大人みんなで育てていく温かい雰囲気の中校にしていきたいです。ご協力をお願いします。

#### <その他>

・制服を廃止して欲しい!

みんなの服を統一しないといけないとか、登下校だけ制服とか、何のためにそろえるのか意味不明。子どもにも心底説明できない。

・換気のための窓開放について

授業中もずっと固定された位置の窓が開いていると聞きました。

授業中は状況に応じて閉めたり、また開ける窓の位置を変えたり、臨機応変に対応いただけませんか。

開いた窓の近くに座っている子は、集中して授業を受けることができるという実証済でしょうか。実際、寒さや暑さにより授業に集中できないこともあったと子供から聞いています。エアコンのおかげで快適に授業を受けられる子、寒さや暑さに耐えながら授業を受ける子。先生方は毎授業変わるので感じないこともあるかもしれませんが、寒さや暑さで集中できない子がいて、さらにそれを伝えられない子もいるということを知ったうえでの対応をお願いしたいです。

・制服については、令和 3 年度から、可見市全体で保護者・地域・児童生徒のアンケートなどで意見を取り入れながら、制服を採用し、デザインを決定した経緯があります。ただ、多数決での動きであることは否めず、お気持ちに浴えないことを申し訳なく思います。次年度から、場にふさわしい服装を判断して、着用する場面を増やしていきます。また、登下校時の服装は、感染対策でジャージのみのあり方から、制服またはジャージのどちらかを各自で選んで着用していただけます。学校生活でも、同様に、各自で活動に合わせた服装を選んで過ごしていきます。

・教室の座席によって、寒暖の差があることは、大変申し訳なく思います。授業や取組みの活動の効果をあげるには、ある程度の期間、同じ仲間との小集団活動が有効であるため、結果的に同じ場所で活動することが増えます。防寒対策として、服装で調整していただいておりますが、教師からの生徒への配慮を常に心掛けていきます。

・学年担任制について

来年度以降、学年担任制に向けて動いているという話を聞きました。

その学年担任制は子供たちの意見からの動きでしょうか。具体的にどのような方針・目的の元の動きなのか説明をしていただきたいです。

(中略)さらに、子供は自分が苦手な人や苦手なことに向き合わなくなるかと思います。苦手な先生と思っても、1年一緒に過ごす(とはいえホームルームや道徳などの授業でしか接しないですが)うちにうまく付き合えるようになっていたりすることもあると思います。学年担任制は、もちろんメリットもあるかとは思いますが、先生と生徒全員の質が高いことが前提かと思います。わが子はありがたいことに、親以外で学校に信頼できる先生がいます。多くの言葉にハッとしたとのこと。そんな多くの言葉を子供たちにかけてくださっていることに、ありがたく思っています。卒業の際なんやかんやあったけど楽しかった!と思えるよう、引き続きご協力のほど、宜しくお願いします。

・次年度からの活動について、学校だより1月号、本校ホームページなどで、お伝えしています。新1年生保護者様には、2月の入学説明会で、地域の方々には、評議員会、また PTA 代議員会(2月)などでも校長から説明させていただいております。学校目標「ひとりだち」において、本校職員が全力で生徒の育成にあたっていきます。ご不明な点については、その都度ご説明いたします。一人一人の生徒が、自ら考え、行動することで自分に自信をもつことにつながります。学校・家庭・地域が一丸となることで、生徒の成長を力強く応援していきたいです。